

# 庄原市行政評価シート

令和 **元** 年度評価

事務事業名	庄原市ふるさと応援寄附金		
実施期間	平成 20 年度 ~ 平成	年度 (終期の設定のない場合は、終期を空白)	所管課 総務部 財政課

予算科目	会計 01 一般会計	款 2 総務費	項 1 総務管理費
	目 04 財政管理費	事業 401 財政管理事業	

対象者	庄原市のまちづくりに賛同する個人又は団体	対象者数など
根拠法令・計画等	庄原市ふるさと応援寄附条例(平成20年庄原市条例第44号)	
HPアドレス	<a href="http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/government/zaisei/cat02/">http://www.city.shobara.hiroshima.jp/main/government/zaisei/cat02/</a>	

実施目的	庄原市のまちづくりに賛同する個人又は団体から寄附金を募り、当該寄附金を財源として事業を行うことにより、住民参加型の地方自治を推進し、ふるさとづくりに資することを目的とする。
事務事業の概要	<p>ふるさとを応援したいという思いをもって自治体に寄附した場合に、2千円を超える部分について所得税や住民税が控除される制度。</p> <p>10,000円以上の寄附をいただいた方には、金額区分に応じた記念品を選択してもらい送付。記念品は、比婆牛やブランド米など地元産品とし、平成30年度では返礼品を通じた庄原ファンの獲得を目的に市内業者へ公募を実施し、これまでの76品目から87品目に増やした。</p> <p>納付しやすい環境整備として、ふるさと納税ポータルサイトを導入し、コンビニ納付やクレジット決済を可能にしている。</p> <p>流れ…寄附申込み→納付書等の送付→入金確認→受領証明書、礼状、記念品の発送</p>

年度別実績概要	
平成 28 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附人数 262人</li> <li>寄附金額 12,957,000円</li> </ul>
平成 29 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附人数 611人</li> <li>寄附金額 18,783,000円</li> </ul>
平成 30 年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>寄附人数 1,093人</li> <li>寄附金額 30,146,311円</li> </ul>

## 実績指標

(単位:千円)

事業費 (インプット)	項目	内容	H 28	H 29	H 30	合計
	印刷製本費	パンフレット、チラシ印刷	511	577	442	1,530
委託料	記念品発送業務	1,346	3,562	6,750	11,658	
負担金	同窓会負担金	100	100	100	300	
	事業費計		1,957	4,239	7,292	13,488
財源	国県補助金				0	
	地方債				0	
	その他				0	
	一般財源		1,957	4,239	7,292	13,488

実績 (アウトプット)	指標名称	単位	基準値	H 28	H 29	H 30	合計
	1	高等学校同窓会報へPRチラシ同封	校		2	2	2
2							0
3							0
成果 (アウトカム)	1 寄附人数	人		262	611	1,093	1,966
	2 寄附金額	円		12,957,000	18,783,000	30,146,311	61,886,311
	3						0
備考							

事務事業名	庄原市ふるさと応援寄附金	所管課	総務部 財政課
-------	--------------	-----	---------

評価項目	所管課評価	市民意見	評価委員会	評価分布			
				市民意見		評価委員会	
分布は、A+1,B+0,C-1で総回答数で割り、小数点以下四捨五入。ただし、A-C又はC-AがBより多い場合はA,Cに補正する							
<b>優先度</b>	A	A	A	分布	平均	分布	平均
A 同分野の他の事業と比較し、優先度が高い事業である。				4		6	
B 同分野の他の事業と比較し、優先度は中くらいの事業である。				2		1	
C 同分野の他の事業と比較し、優先度が低い事業である。				0	1	0	1
<b>認知度</b>	B	A	A	分布	平均	分布	平均
A 対象者以外にも、おおむねの内容は知られている事業である。				5		4	
B 対象者には、おおむねの内容は知られている事業である。				1		3	
C 一部の者を除き、事業があることすら知られていない。				0	1	0	1
<b>有効性</b>	A	A	A	分布	平均	分布	平均
A 費用に対して、効果・成果が高い事業である。				4		6	
B 費用に対して、効果・成果が中くらいの事業である。				2		1	
C 費用に対して、効果・成果が低い事業である。				0	1	0	1
<b>受益者満足度</b>	A	A	A	分布	平均	分布	平均
A 受益者(対象者)は、満足している事業内容である。				1		7	
B どちらともいえない。				0		0	
C 受益者(対象者)が、満足できない事業内容である。(改善要望がある ほか。)				0	1	0	1
<b>市民(納税者)納得度</b>	B	A	A	分布	平均	分布	平均
A 目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外も納得できる事業である。				3		5	
B どちらともいえない。				2		2	
C 目的・費用・自己負担・内容等から、対象者以外は納得できない事業である。				0	1	0	1
<b>代替性</b>	A	A	A	分布	平均	分布	平均
A 収益性や技術面から民間での実施が難しく、市が実施すべき事業である。				4		6	
B 民間での実施も可能であるが、公共性・公平性などから市が関与すべき事業である。				2		1	
C 市の関与は委託や助成とし、民間等での実施を検討すべき又は市が関与する必要はない事業である。				0	1	0	1
<b>まちづくり基本条例適合性</b>		B	B	分布	平均	分布	平均
A 市民(団体等を含む。)の自立を促進する事業である。				2		2	
B 市民の自立促進までは期待できないが、条例の趣旨(市民が主役のまちづくり)に沿った事業である。				3		5	
C 条例の趣旨に沿った実施形態となるよう、手法・内容を見直すべき(終了を含む。)事業である。				1	0	0	0
<b>所管課評価</b>	<b>現行どおり</b>						
評価視点	平成31年3月20日よりポータルサイトの導入を含めた一括業務委託を実施しており、寄附者の増加を見込んでいる。本市の財源確保の一角を担っているため、地場産の返礼品を充実しながら、事業の継続が必要である。						
所管課が課題と考える内容	全国の認知度を高めるため、PRに努める必要がある。						

市民意見(プラモニ)		※市民意見は、意見数集計のみを評価とします。(プラモニとしての総括評価はありません。) ※全意見は、ホームページに掲載しています。				
意見数分布	現行どおり	拡 充	縮 小	終 了	その他の見直し	総回答数
	5	1	0	0	0	6
主な 意見	【現行どおり】 -					
	【拡充】 ・比婆牛と地酒しか対象品目が無いようですが、せっかくなので庄原市内の地域のブランド米を作って品目に加えるのも良いと思います。					

<b>行政評価委員会評価 現行どおり</b>	※行政評価委員会の摘録(会議内容)は、ホームページに掲載しています。
------------------------	------------------------------------

**総括意見**

返礼品目を増やす、納付しやすい環境の整備、集客力のあるポータルサイトの活用等、改善を進めた結果、寄附者(寄附額)が増加している。  
 現行どおり、常に検証と改善を進め、これまでの庄原市応援者との関係を維持しながら新たな関係人口を増やし、長期的かつ継続的に繋がる仕組みづくりについて、次の点を検討に含め、地道に取り組んでいただきたい。  
 ・「ふるさと応援団事業」等、他部署と連携し、特色あるPR方法としくみによる全国認知度向上を図る。  
 ・物品だけでなく、宿泊・体験型での返礼。

▲ ※委員会における最終的な評価として総括したものであり、最も分布の多い評価を優先するものではありません。

評価分布	現行どおり	拡充	縮小	終了	その他の見直し
	6	1			

**各委員の意見**

**【現行どおり】**

①ふるさと納税は、応援したい自治体へ寄付する制度であり、有効な制度であると思う。本来の趣旨から過度な返礼品は控えるようにしてほしい。

②本市への寄付額「平成29年度」は県内の市では少なく、低位にあることから、他の事業「ふるさと応援団事業」等を活用して、幅広く本事業のPRに努める必要がある。他の事業を絡めて、機会あるごとに庄原市との関係人口を増やすPRを進め、ふるさと納税につなげていく必要がある。返礼品については、充実していく必要があるが、物品だけではなく、市内での宿泊や体験施設の利用等幅広いメニューとしたらどうか。

③寄付人数も年度毎に増加しており、効果のある事業だと思う。市外県外者が多い点を重視し、庄原市独自の特色あるPR方法としくみを考案し、全国認知度を高めてほしい。

⑤ふるさとを応援したい想いの方が、ふるさとに寄附という形で手軽に貢献する手段があることは、良いことだと考えます。このような施策は、一度に寄附者が急激に増加することを望むのではなく、息の長い取り組みとして、地道に寄附者、寄附金額を増やす方が良いのではないのでしょうか。

⑥国による「ふるさと納税」の仕組み自体、手放しでは賛成できかねる(税収の不足を寄付で補うとは…税(特に国税)の使途をもっと精査するべきだ)と思っているが、制度がスタートし、他の市町村も導入している中で、「うちは導入しません」というのは難しいのだろう。返礼品に市内産品を使うなど、庄原市として頑張っているし、生産者を応援する形になっているのは良いと思う。現行通り、地道に取り組んでいただきたい。

⑦納税の環境を改善されたことで、経過観察が必要。ポータルサイトを拝見したが、事業内容について漠然としているので、使用目的など詳しく載せてほしい。また「一年度の使い道実績報告」の記載欄があるが、空白になっている。サイトでの決まりでなければ、昨年度の使い道が分かっているもの(予定のものも含む)の入力を早急に望む。

**【拡充】**

④着実に寄付額は伸びており、ポータルサイトの導入等で利便性も向上している。庄原市の魅力をPR出来る事業である事から拡充すべきだと思う。ふるさと応援寄附金の使途として指定できる事業に、「災害復旧」または「災害対策」を加えてみてはどうかと感じた。

<b>今後の事業実施の方向性 現行どおり</b>	
--------------------------	--

**詳細**

令和2年度では、引き続き返礼品の充実や、集客力のあるポータルサイトを追加することで、寄附者(寄附額)が増加するよう努める。  
 また、宿泊・体験等のメニューについても今後検討を行う。

**備考**

当初予算額  
 【歳入】令和2年度：40,000千円  
 令和元年度：36,400千円  
 【歳出】令和2年度：20,627千円  
 令和元年度：19,530千円